

平成30年度使用小学校用教科用図書（道徳）の採択結果

皆野町教育委員会

種 目	発行者の 番号・略称	使 用 学 年	教科書の書名 記号・番号	書 名
道 徳	224 学研	1	道徳 139	みんなのどうとく1ねん
		2	道徳 239	みんなのどうとく2年
		3	道徳 339	みんなのどうとく3年
		4	道徳 439	みんなの道徳4年
		5	道徳 539	みんなの道徳5年
		6	道徳 639	みんなの道徳6年

平成30年度使用小学校用教科用図書の採択理由

皆野町教育委員会

種 目	発行者名	採択の主な理由
道 徳	学 研	<p>○児童に特定の価値観を押しつけることなく、児童の問題意識をもとに学べるようになっている。</p> <p>○A4判の紙面で、文字が大きく、見やすい。場面絵も裁ち落としが多いため、迫力がある。</p>

書名		2 東 書
項目	新しい道徳	
教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○全ての読み物教材に、中心となる問いがあり、道徳的価値を明確にしている。また自分との関わりで考えを深められる振り返りの設問を明示している。また自分との関わりで考えを深められる振り返りの設問を明示している。また自分との関わりで考えを深められる振り返りの設問を明示している。また自分との関わりで考えを深められる振り返りの設問を明示している。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○問題場面について児童自身の考えの根拠を問う問いや、問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す問いなどによって、自己の生き方への考えを深めている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○学習した後の「学習の振り返り」や「輝く自分に」を設け、自らの成長を実感できるようにしている。また3年生以上に「つなげる 広げる」を掲載し、日常生活での実践に結びつけている。</p>	
特 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめ問題」は、全学年で、重要項目として取り上げている。『直接的教材』と『間接的教材』の2つの組み合わせで、考えさせている。</p> <p>○「情報モラル」については、全学年、読み物教材とは別に特別なページを設け、段階的に指導ができよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○各教材にあるキャラクターによる問いと巻末の「学習の振り返り」で、ねらいを確実に達成できるようになっている。また4年生以上に、スポーツ選手を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「出会う・ふれ合う」では、他人とのコミュニケーションを通して、道徳的価値について考えることができる。また巻頭に「話し合いの約束」を設けて学習の進め方を示し、話し合い活動の充実につなげている。</p>	
色 資 料	<p>○学校行事に関連した教材を多く取り上げ、共感しながら考えを深めていくことができる。画面の大きさを考慮して、挿絵や写真を効果的に載せている。鉄腕アトムやドラエもんなどのアニメも掲載している。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○最初のページに、全教材を4観点別に表記してある。題名の上にも、マークとして示されている。漢字は、当該学年前までの配当漢字を使用している。ルビは初出のみ。難解な言葉は、文章の下部に補説がある。</p>	
総 括	<p>○各教材に学習のテーマを明示し、教材に配したキャラクターによる問いと巻末の「学習の振り返り」で、ねらいを確実に達成できるようになっている。「いじめ問題」を重点的に扱い、「いじめのない世界へ」というとびらページを設け、主体的に考えることを促す工夫がある。</p>	

書名		かがやけみらい 小学校道徳	11
項目	読みもの 活動		学 図
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○「読み物」と「活動」の2冊で構成されている。別冊「活動」には、問いが記載され、そこに児童の考えを書けるようになっている。書くことを通して、道徳的価値について理解を深められるようになっている。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○別冊「活動」で、考えることや見つめることをマークで示し、自分の考えや生き方を深められるようになっている。また、心の変容や学習の深まりについても活用できる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○別冊「活動」で、「きまりよい生活ができていますか。できていたら色を塗りましょう。」など実践化へのページが用意され、道徳的実践意欲と態度を育てようとしている。また家庭等と連携を意識した問いもある。</p>		
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重要項目とし、教材の他にコラムを配置し、自他の生命を尊重する態度からいじめ問題に向き合う心を育成している。</p> <p>○「情報モラル」では、情報に関する自他の権利、情報社会におけるルールやマナーなどについて、具体的な場面に即した教材を掲載している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○別冊「活動」で、単純作業や記述活動などを発達段階に即して用意し、ねらいの達成に向けた工夫がある。また2年生以上に、偉人やスポーツ選手等を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○問題解決的な学習、体験的な学習など、多様な方法を示している。また、「書いてみよう、やってみよう、話し合おう」が明確で、考え、議論する多様な学びが展開しやすくなっている。</p>	
	資 料	<p>○学校行事との関連を図った教材を配置している。また実生活に根ざした教材や絵本・文学作品からの教材も多く、児童の心に響く教材が掲載されている。イラストや写真を大きく掲載している。</p>	
	表 記・ 表 現	<p>○最後のページに、全教材を4観点別に表示してある。題名にも、4観点を、色別（マーク付き）で囲んである。学年配当漢字には、全てルビを付けている。難解な言葉は、文章の最終ページに補説がある。</p>	
総 括	<p>○「読み物」と「活動」の2冊で一つの教科書。「読みもの」で教材文を用いて人物の行動や気持ちを考え、「活動」で自らを振り返る。「活動」では問いが準備されている。問題解決的な学習、体験的な学習などが多く取り入れられ、自ら考えを深められる工夫がある。</p>		

項目	書名 小学道徳 はばたこう明日へ 17 教出
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○題名の前に、導入の問いを配し、道徳的価値への誘いを図っている。「ジャンプ」のページでは、教材の学習を踏まえ、課題解決に向けた役割演技などを通じて、道徳的価値の理解を深めさせている。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○巻頭に「道徳開き」のページを配置し、今の自分やなりたい自分の姿を記入させ、自己を見つめさせている。各教材の最後には、「学びの手引き」を配し、自己の生き方について考えさせる問いがある。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○各学年の巻末に、「道徳学習の振り返り」を配置し、心の成長を自己評価できる。各学年に、行動化を図るためのモラルスキルトレーニング教材があり、道徳的実践意欲と態度の育成を図っている。</p>
特 色 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」を最重要項目とし、低・中・高学年別にテーマを決めて、段階的に考えを深められるように工夫している。 ○「情報モラル」では、情報モラルを守る態度を育てることを重点に、低学年が1教材、中・高学年が2教材以上を掲載し段階的に指導できる。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各教材の冒頭の問いと最後の「学びの手引き」で、ねらいの達成を図っている。また発達段階を考慮した偉人やスポーツ選手など、人に学ぶ教材が多く、生きざまを学び、人生の指針となるよう工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「学びの手引き」には、みんなで話し合うことや考えることなどが示され、多面的・多角的な観点から考え議論できるように工夫してある。また子供たちが考え、話し合いたくなるテーマ・人物の選定がされている。</p>
色 資 料	○巻頭に、今の自分を記すページがある。最後に、10ページずつ補充の教材がある。年間行事と関連させて指導ができるように配置してある。フェルトや人形、立体的な紙芝居風イラストを挿絵として掲載している。
表 記 ・ 表 現	○最終ページに、全教材を4観点別に示してある。題名のところにも、4観点で色別（マーク付き）にある。漢字は当該学年の前までを使用。ルビは初出の漢字に付いている。難解な言葉は、文章の下部に補説がある。
総 括	○各教材の最初に、導入の問いを配し、道徳的価値への誘いを図っている。終わりには「学びの手引き」や「ジャンプ」を配し、道徳的価値の理解を深めている。モラルスキルトレーニングのページがあり、道徳的価値を体感し、実感を持って理解できる。

書名		道徳	38
項目	きみがいちばんひかるとき		光村
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○「こころん」というキャラクターに児童への問いかけを行わせ、教材への興味関心を高めている。また「考えよう」の欄を設け、問いに基づき、議論することで、道徳的価値の深化が図れる。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○「考えよう」で、授業のめあてを示し、児童に課題をはっきり意識させている。また、「きらりん」というキャラクターで、日常生活や他教科への関連づけを図り、自己の生き方への考えを深めさせている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○教材に複数の観点を取り入れたり、「考えよう」にいくつかの観点を示したりして、多様な考え等を知らせ、道徳性を育てている。また「学びの記録」に、自分の成長を記録させ、成長が実感できる工夫がある。</p>		
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「命」を重視している。「いじめ問題」では、いじめの教材とコラムを組み合わせたユニットで設定され、学級づくりと関連させている。</p> <p>○「情報モラル」でも、コラムと教材を組み合わせたユニットになっている。コラムでは、話し合う視点が設定され、考えの深化を図っている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○各教材の最後に「考えよう」等を配し、めあてや問いを考えることでねらいが達成できるようになっている。また全学年に、スポーツ選手や偉人を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○教材の特性に合わせ、「考えよう」に「あなただったらどうしますか」という問いを配し、考え議論する道徳に導いている。また2年生以上の冒頭には、「考え、議論する道徳」の姿が具体的に示されている。</p>	
	資 料	<p>○巻頭ページには、詩が掲載されている。また学んだことを記録として残すためのページがある。5項目のコラムが掲載されている。絵や写真、漫画形式の挿絵が掲載してある。</p>	
	表 記・ 表 現	<p>○最終ページに、全教材を4観点別の表で示してある。題名の前に、観点別のマークが書かれている。当該学年の配当漢字全てにルビを付けている。難解な言葉は、文章の下部に補説がある。</p>	
総 括	<p>○各教材に「考えよう」の欄があり、めあての確認と問いが示され、この欄を活用することで、無理なく授業が展開できる。1年間を四つの「学習のまとめ」に分け、まとめごとに視点の重点化を図り構造化している。ユニット構成で学びを深める教科書である。</p>		

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○導入で示される道徳的価値とその価値を深めるための中心問いと終末の振り返りが一貫しているため、これらを活用することで、道徳的価値についての理解を深めることができる。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○役割演技や話し合いなど、考えを深めるための活動例が写真入りで提示されている。また「学習の手引き」で、吹き出しを使って自分の考えを書き留められるようになっていて、考えを深めることができる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○「心のベンチ」で、実践力や心情などに繋がるような教材と関連した内容や活動の例示がされている。「心のノート」で、自分と異なる意見を記録でき、道徳性の育成が図れる。</p>
<p>特 色 内 容 資 料 表 記・表 現</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」は全学年で取り上げている。コラムや体験的な活動を通して、多面的・多角的に考えられる工夫がある。 ○「情報モラル」では、全学年、日常生活で情報機器を使う上での約束やマナーについて取り上げている。チェックシート等の工夫ページがある。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各教材に、発達段階に応じて、価値づけの問いとねらいを達成できるような問いが示されている。また2年生以上に、スポーツ選手や偉人を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○1教材1ページの「道徳ノート」がある。自分の考え、友達の意見を書き込む欄があり、「考え・議論する道徳」を展開しやすい。問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材には、学習の手引きが設定してある。</p> <p>○学校行事に関連した教材を取り上げ、共感しながら考えを深めていくことができる。また、著名人や漫画のキャラクターから学ぶ教材がある。挿絵や写真を効果的に載せている。</p> <p>○最後のページに、全教材を4観点別の表で示す。題名にも4観点で色別で囲んである。漢字は、当該学年の配当漢字までを使用。当該以上の漢字には、すべてにルビがある。難解な言葉は、文章の上部に補説がある。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「読み物」と「道徳ノート」の2冊。道徳ノートは、1教材1ページになっている。自分の成長の記録、友達の意見、保護者の言葉など書き込む欄がある。各教材の初めに内容に関わる問い、教材の終わりには振り返りの問いがあり、授業の流れに沿っている。</p>

項目	書名 小学道徳 ゆたかな心 208 光文
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○各教材の冒頭に問い、末尾に「まとめる」「広げる」を設定し、1時間の授業の目的や流れを明確にしている。導入で示した「問い」を意識させて学習に臨ませ、終末での振り返りで道徳的価値の深化が図れる。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○各教材の最後の「まとめる」で、学習した内容の振り返りの問いが示されている。この問いを考えることで、学習した道徳的諸価値を自分との関わりの中で捉え、自己の生き方への考えを深めることができる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○各教材の末尾にある「広げる」で示された問いで、学んだことを他教科や学校生活、家庭生活、地域社会へとつなげることができ、道徳性の育成が図れる。また「学びの足あと」への記入で、成長を実感できる。</p>
特 色 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」では、全学年にコラム「みんな仲よし楽しい学校」を発達段階に合わせて設置し、いじめをしない、許さない態度を育てている。 ○「情報モラル」では、全学年に「情報モラルのコラム」が掲載され、身近かな問題を基に学べるように工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各教材の冒頭に示された問いでねらいの明確化が図れ、教材内でのキャラクターによる問いかけでねらいの達成に繋がる。また全学年に、偉人等を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○巻末に「学びのあと」があり、毎時間、ひと言感想が書けるので、児童が成長を実感できるようになっています。オリエンテーションページを活用することで、言語活動の充実が図れる。</p>
色 資 料	○日常生活の出来事や自分と違う世界や他者の体験を通した教材を取り上げている。A4変形判の大きさなので、写真や挿絵が引き立つ。アニメや実話、諺を掲載している。
表 記 ・ 表 現	○最終ページに、全教材を4観点別の表で表記してある。題名の前に、観点別のマークがある。前学年までに習った漢字を使用し、3年生までは全ての漢字にルビがある。難解な言葉は、文章の下部に補説がある。
総 括	○A4変形判で、見やすい紙面である。教材が40用意されている。巻末に「学びのあと」があり、毎時間、ひと言感想が書ける。各教材の最初に内容に関する問い、教材の下段に補助的な問い、教材の最後にまとめと広げるの問いが記載され、授業の流れに沿っている。

書名		224 学 研
項目	みんなの道徳	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○主題が入っていないので、自ら問題意識や道徳的価値に気づかせることができる。児童の日常生活と関連した教材や今日的な課題を多く取り上げている。「あなただったらどうするか。」という問いが書かれている。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○教材の最後の「かんがえよう」や自分の考えを書き込む欄により、自己を振り返る活動ができる。「つなげよう」で自分の生き方を考えたり振り返ったり、これからどう生きていくか考えたりできる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○「学びのページ」で、問題解決的な学習の道筋を紹介したり、道徳的行為に関する体験的な活動を示したりしている。教材の最後の「深めよう」「つなげよう」「広げよう」で、道徳性をさらに深めることができる。</p>	
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「命の教育」を全学年の重点として扱っている。「いじめ問題」では、「深めよう」「やってみよう」で、発展的な考え方を提案している。 ○「情報モラル」では、情報や情報機器を扱う際に気をつけるべき事を扱った教材を掲載し、道徳教育の視点から考えの深化を図っている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○特定の価値観を押しつけること無く、児童の実態に応じた問題意識からねらいが設定できる。また全学年で、偉人やスポーツ選手を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「考え、議論する道徳」が実現しやすいように、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習にあった教材を取り入れている。話し合い活動（議論）や記述が積極的に取り入れてある。</p>
	資 料	○役割演技やきまりカルタづくりなど体験活動を提示している。巻頭には、2ページにわたり写真が掲載され、詩や名言が加わっている。3・5・6年で、アニメを使用している。
	表 記・ 表 現	○最後のページに、全教材を4観点別で示してある。題名の前にも4観点別で色分けで表示してある、ルビは、未習の漢字を含む当該学年の配当漢字までついている。難解な言葉は、文章の上部に補説がある。
総 括	○A4判の紙面で、字が大きく、みやすい。場面絵も裁ち落としが多いため、迫力がある。各教材の前に主題がないので、先入観を持たない。教材の終わりに「考えよう」「深めよう」「広げよう」などが記載され、様々な学習活動を通して、考えを深められるような工夫がされている。	

道徳科 調査資料1-8

項目	書名 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート	232 廣あかつき
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○「学習の道すじ」により、道徳的価値を明確にしている。また、その価値に迫るための問いが段階的に設定されている。教材の題名横に学びのヒントが書いてある。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○本の紹介や「このひとこと」により、自己の生き方を違う角度から見つめるきっかけを与えている。別冊のノートは、記述欄がたくさんあり、書くことによって自己を見つめ、考えることができる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○本冊では、皆で考えて話し合い、別冊のノートでは自己を見つめ、2冊の相乗効果で道徳性を育成している。「考えよう 話し合おう」の中での「活動しよう」で、実践に繋がる活動を提案している。</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○生命尊重を最重要項目と位置づけ、特設ページを設けている。「いじめ問題」では、問題解決的及び体験的な学習を促す教材が配置されている。 ○「情報モラル」では、高学年で2教材、3年生以上に特集ページがあり、インターネットでのルールやマナー、著作権法など多義の内容である。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○全学年、児童の発達段階に応じた「命の教育」に関する特別ページを設定している。また全学年、偉人やスポーツ選手を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○本冊と道徳ノートの2冊がある。本冊では、話し合いのきっかけとなる問いが示されている。道徳ノートには、話し合いの記録ができ、学習の自己評価をし、自己の成長を振り返ることができる。</p>
	資 料	<p>○先人の伝記や著名人、スポーツ選手などから生き方を学ぶ教材が多く使用されている。見開きで繋がった絵や1ページすべて写真などを基に考える教材がある。新聞記事や格言、本の紹介が掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○最終ページに、全教材を4観点別で囲んである。ルビは、未習の漢字を含む当該学年の配当漢字までである。難解な言葉は、文章の下部に補説がある。</p>
総 括	<p>○「読み物」と「道徳ノート」の2冊。読み物にある各教材の最後の「学習の道すじ」で、めあてや道徳的価値に迫る問いが段階的に設定されている。別冊のノートは、記述欄がたくさんあり、書くことによって自己を見つめ、考えることができる。</p>	